

## 第5考査 世界史A 問題

I、[ ]内に適語を記し、下線部について設問に答えよ。なお語群に適語があるときはそれを用いよ。

①中国は、17世紀以来 ②[ 1 ]人がたてた清の支配下にあった。③この時期は貿易も好調であり[ 2 ]などの貿易によって大幅な[ 3 ]超過状態であり、イギリスなどから大量の[ 4 ]が流れこんでいた。

④18世紀後半以降イギリスでは輸出を拡大したいという声が急速にたかまり、その障害となっている[ 5 ]の廃止や⑤開港場の拡大などを要望したが、清の拒否にあった。

19世紀になると、⑥イギリスはインドで作らせた[ 6 ]の密輸をすすめるようになってきた。⑦この害がひろがってくるなかで、清政府は[ 7 ]を欽差大臣として派遣、取締りを強化した。これにたいしてイギリスは態度を硬化し[ 8 ]年ついに戦争が発生した。この戦争は近代的な軍事力を背景にしたイギリスが勝利、⑧[ 9 ]条約をおしつけた。

この条約にもかかわらず、貿易額が伸びないことなどに不満をもったイギリスは⑨太平天国の乱で苦しむ清国に対し、[ 10 ]をさそって[ 11 ]戦争をしかけ、⑩1860年には[ 12 ]条約をおしつけた。

太平天国の乱の鎮圧の過程で欧米列強の力を実感した曾国藩、李鴻章らは富国強兵をめざし[13]運動をはじめた。しかしこの運動は⑪「中体西用」というスローガンにも示されるように限定的な改革をめざすものであった。そして強化された軍事力で国内反乱を抑えたが、朝鮮進出をめぐる日本と対立、1894年⑫日清戦争が発生した。

輸出 輸入 銀 茶 アヘン 南京 北京 満州 下関 林則徐 洪秀全 李鴻章 アロー ポーツマス
---

<設問>

①下の図は清に至る中国の王朝や国名、時代の名前を古い順に記したものである。空欄A～Jに入れるべき語を漢字1～3字で記せ。

( A ) → 周 → ( B ) ・ 戦国時代 → ( C ) → ( D ) → 三国時代 → 晋 → ( E ) 時代 →  
→ ( F ) → ( G ) → 五代十国時代 → ( H ) → 金 ・ 南宋 → ( I ) → ( J ) → 清

②(1) 清と漢民族(狭い意味での中国人)の関係について記した文章をあるだけ選べ。

- (ア) 漢民族が高い地位の役人に採用されるという事はありえなかった。
- (イ) 清はしだいに高度な文化をもつ漢民族の風習にとりこまれていった。
- (ウ) 漢民族を奴隷としてあつかった。
- (エ) いわゆる「アメとムチ」の政策を採っていた。

(2) 清の時代、中国にすむ人々が義務づけられていた髪型を解答欄の絵に書き込みなさい。

③ 清とヨーロッパとの関係について正しく記したものを選び記号で記せ。

- (ア) 中国の歴代王朝は一貫して海禁(鎖国)政策をとり、ヨーロッパ人の来訪は厳しく制限されていた。
- (イ) 清の前の王朝の末期に訪れたヨーロッパ人はキリスト教とともに地図や砲術など科学技術も伝えた。
- (ウ) 宣教師たちによってキリスト教が中国民衆の中に深く浸透し、中国の政治に大きな影響力を持った。
- (エ) ヨーロッパとの貿易で多くの利益を得ることのできるため、清は開港場を次々と増やしていった。

④ なぜこのような声が高まったのか、理由を解答欄の指示に従って記せ。

⑤ この時期、清が認めていた開港場をあるだけ選び、記号で記せ。

(ア)旅順・大連 (イ)広州 (ウ)台湾 (エ)天津 (オ)上海 (カ)北京 (キ)香港 (ク)南京 (ケ)下関

- ⑥インドでアヘンを栽培させることが、なぜイギリスの貿易拡大につながると考えたのか、理由を記せ。  
⑦どのような害が広がったのか、2点記せ。  
⑧(1)この条約によってイギリスにゆずられた島の名前をいえ。

(ア)旅順・大連 (イ)広州 (ウ)台湾 (エ)天津 (オ)北京 (カ)香港 (キ)南京 (ク)下関

(2)この条約やその附属条約で中国が認めた内容とは異なるものを1つえらび、記号で記せ。

(ア)最恵国待遇の承認 (イ)関税自主権の放棄 (ウ)アヘン貿易の公認 (エ)領事裁判権の放棄  
(オ)上海など5つの港の開港

- ⑨太平天国の乱について以下の問いに答えよ。  
(1)指導者の名を記せ。  
(2)この反乱のスローガンを漢字4字で記し、その意味をかけ。  
(3)この反乱について記した以下の文の中から誤りを含むものを1つえらべ。

(ア)中国中南部で発生した大農民反乱である。  
(イ)この反乱の中心となったのは上帝会というキリスト系宗教的秘結社である。  
(ウ)欧米列強はこの反乱の鎮圧に協力した。  
(エ)女性の足を奇形にする纏(てん)足という風習をやめるなど男女平等の思想を持っていた。  
(オ)地主勢力と結び、農民の土地の再分配をはかっていた。

- ⑩(1)この条約にかかわりないものを1つ選び、記号で記せ。

(ア)外国軍の北京駐兵権をみとめる (イ)キリスト教布教の公認 (ウ)天津など11港の開港  
(エ)イギリスへの九竜半島の一部の割譲

(2)この条約を仲介し、沿海州を手に入れた国はどこか。下から選び記号で記せ。

(ア)ロシア (イ)ドイツ (ウ)アメリカ合衆国 (エ)日本 (オ)ベルギー (カ)スペイン (キ)オランダ

- ⑪「中体西用」というスローガンの内容について説明せよ。  
⑫日清戦争について記した以下の文の空欄に適語を記せ。

朝鮮への進出をめざす日本と、[A]権を主張して朝鮮進出をはかる清との間で[B]年に始まった戦争。朝鮮政府が清に[C]戦争という農民反乱への援助を求めたことをきっかけに発生した。[D]や中国東北部南部などが戦場となった。日本の勝利におわり、[E]条約で日本は遼東半島や[F]を獲得した。しかしロシアなどによる[G]によって遼東半島は清に返却されることになる。

Ⅱ、文中の[ ]に適語を入れよ。なお語群に適語があるときはそれを用いること。また下線部について下記の設問に答えよ。

日清戦争の敗北とそれにつづく①列強による半植民地化の急速な進展をうけ、清では②変法自強運動が開始された。しかし西太后ら保守派は[ 1 ]の政変をおこしてこの運動を挫折させた。こうして復活した保守派政権は、1900年③義和団事件の結果、列強から[ 2 ]の調印を認めさせられた。

こうした清への反発から、中国では革命運動が発展し始めていた。とくに19世紀末ごろから、④華僑らの支援を受けた革命結社が次々と結成され、1905年にはこうした革命結社が大同団結した[ 3 ]が結成され、⑤三民主義を基礎とした綱領が決定された。

[ 4 ]年四川省と武昌で[ 5 ]に反対する暴動が発生すると、革命運動は中国全土でに拡大、翌年1月[ 6 ]を臨時大総統に[ 7 ]の建国が宣言された。これを[ 8 ]革命という。これにたいし軍の実力者[ 9 ]は革命派と妥協、清の[ 10 ]を退位させることと引き換えに、臨時大総統の地位を獲得した。革命派を弾圧したかれは[10]になろうとしたが全土から反対運動が発生し挫折、病死した。その後、中国では列強の支援を受けた[ 11 ]とよばれる地方軍事勢力が互いに抗争を繰り返す時代がつづく。

戊戌 戊辰 孫文 辛亥 甲子 皇帝 軍閥 国王 中国共産党 中国同盟会 中国国民党

《設問》

①日清戦争後の列強の活動について記した以下の文の空欄に入れるべき適語を語群より選び、記号で記せ。

日清戦争後、各国は中国への進出を活発化させた。ロシアは[A]鉄道の敷設権とともに、遼東半島南部の[B]の租借権を獲得、つづいてドイツは[C]、フランスは[D]を租借した。さらにイギリスは香港島周辺の[E]半島と[F]を租借、さらに各国は鉄道敷設権や[G]権を獲得、勢力圏を設定した。

これにたいし、アメリカ合衆国は中国に[H]を呼びかけるとともに、列強は中国の[I]をはかり、中国の主権を尊重すべきだと主張した。この背景には圧倒的な[J]で中国市場への進出をめざすアメリカの姿勢を見ることができる。

(ア)旅順大連 (イ)威海衛 (ウ)膠州湾 (エ)広州湾 (オ)九龍 (カ)東清 (キ)台湾 (ク)鉱山採掘 (ケ)保護  
(コ)領土保全 (サ)完全分割 (シ)門戸開放 (ス)経済力 (セ)軍事力

②変法自強運動について説明した以下の文で誤りを含むものを1つ選び記号を記せ。

- (ア)洋務運動では祖国を救えないと考えた康有為らのはじめた改革運動である。
- (イ)当時の皇帝光緒帝の支持を得てすすめられた。
- (ウ)日本の明治維新をモデルにして立憲君主政をめざしていた。
- (エ)「変法自強」とは中国の伝統的な思想や体制に西洋の科学技術を用いるという意味である。

③義和団について説明した以下の文で誤りを含むものを1つ選び記号を記せ。

- (ア)列強の進出と基督教の広がりにより危機感を感じた山東省の民衆の間から生まれてきた。
- (イ)武道(空手)を学べば鉄砲の弾に当たっても死なないと考えていた宗教結社である
- (ウ)義和団は、清は欧米列強の手先になっており、滅ぼすべきだと主張した。
- (エ)1900年には北京に侵入して、外国公使館を包囲した。

④華僑について説明せよ。

⑤三民主義について記した以下の文で誤りを含むものを選び、記号で記せ。

- (ア)革命運動の指導者、毛沢東がめざす革命の三つの方向性を示したものである。
- (イ)満州人の国である清を打倒しようという考えを含む

- || (ウ)共和政を実現しようという考え方を民権主義という。
- || (エ)土地所有の平均化をめざすという民生主義という立場を主張していた。